

公益社団法人日本技術士会

平成29年度 中国本部岡山県支部 年次大会 次第

日 時：平成29年7月29日（土）14：00～15：15

会 場：岡山国際交流センター(岡山市北区奉還町2丁目2-1 TEL086-256-2905)

次 第

1. 開会挨拶 支部長 木口 誠二
2. 議長選出
3. 議 案

(1) 平成28年度岡山県支部 事業報告 および収支決算	資料1.1：平成28年度事業報告書 資料1.2：平成28年度決算報告書
(2) 平成29年度岡山県支部 事業計画 および収支予算	資料2.1：平成29年度事業計画書 資料2.2：平成29年度収支予算書
(3) 平成29年度岡山県支部の組織 および規約説明	資料3：岡山県支部の運営における個別事項に関する手引き 【別記表1】岡山県支部における組織体制 【別記表2】岡山県支部における委員会とその所掌事項
(4) 平成29年度岡山県支部 役員 および委員会委員紹介	資料4.1：岡山県支部役員名簿 資料4.2：岡山県支部委員会委員名簿

4. 閉会挨拶 副支部長 福田 富三

【公益社団法人日本技術士会 中国本部 岡山県支部 役員会、年次大会の開催】

1. これまでの中国本部総会での審議事項は全て役員会で審議することになり、「年次大会」報告事項についても平成29年4月22日及び7月15日の中国本部役員会で審議された後、7月15日の「年次大会」において会員に報告されました。
2. 同様に、岡山県支部においても審議事項は全て「役員会で審議」することになり、6月10日に岡山県支部役員会で審議されたので、7月29日の「年次大会」において会員に報告いたします。

平成 28 年度事業報告並びに収支予算

【平成 28 年度事業報告】

《基本施策》

- 「行動し発信し地域に展開する公益社団法人日本技術士会中国本部 岡山県支部」として、技術士の資質向上、社会貢献活動の推進、戦略的な情報発信および地域に密着した活動の展開により、会員サービスの充実と技術士の知名度向上を図り、会員拡大を早期に実現する。
 - (1) 公益社団法人としての対応により公益的事業の促進、地域社会の発展に寄与する。
国、県、市町村と協力し、中小企業の相談対応・専門家派遣、防災・環境保護活動、理科教室支援等を通じて地域社会発展へ貢献する。
 - (2) 知名度の向上及び技術士の活用促進
戦略的な広報活動の推進、各種行事や社会貢献活動による積極的な情報の発信に努め、技術士の知名度を向上させるとともに、自治体及び関連学協会との連携を深め、効果的な活動に努める。
 - (3) 技術士の資質向上と活性化
CPD行事、地域との交流・研鑽をめざした講演会・見学会、倫理の啓発など技術士の資質の向上に努めるとともに地域技術関連組織（大学、工業高等専門学校、技術研究機関、各種学会、他の技術有資格者組織）との連携強化やコラボレーションにより、会員活動の活性化を図る。
 - (4) 会員の拡大
企業内技術士、大学等 JABEE 認定課程の学生に対して、世の中に役立つ技術士の魅力をアピールし、フォーラム、講演会、セミナー等を通して技術士の活用事例等を発信し会員拡大に努める。

《実践項目》

1. 年次大会 岡山県支部年次大会・講演会・交流会<40名>

開催日	平成 28 年 7 月 30 日(土)年次大会・講演会 14:00~17:00、交流会 17:00~19:00
場 所	ピュアリティーまきび
講演会	講題：「スポンジ化する都市をコンパクトへ」
講 師	氏原 岳人氏〔岡山大学大学院環境生命科学研究科助教〕
2. 役員会
 - ①第 1 回役員会〔4 月 23 日(土)〕 13:00~17:00 (株)エイト日本技術開発
内容：中国本部役員会報告（4/16）、平成 27 年度事業計画及び収支予算報告（案）平成 28 年度事業計画及び収支予算（案）
 - ②第 2 回役員会〔6 月 4 日(土)〕 10:00~12:00 岡山国際交流センター
内容：平成 28 年度事業計画及び収支予算、年次大会及び 5 県技術士会の準備等
 - ③第 3 回役員会〔10 月 22 日(土)〕 13:00~17:00 禁酒会館
内容：中国本部役員会報告（7/16、9/10）、平成 28 年事業計画、平成 29 年事業計画及び収支予算案、会報誌等
 - ④第 4 回役員会〔11 月 26 日(土)〕 メール会議：平成 29 年度事業計画及び収支予算案
 - ⑤第 5 回役員会〔3 月 11 日(土)〕 10:00~12:00 (株)エイト日本技術開発
内容：中国本部役員会報告（12/3、2/18）、中国本部及び岡山県支部幹事選出、平成 28 年度事業計画及び収支予算、平成 29 年度事業計画及び収支予算、岡山県支部の個別事項に関する手引き等

3. 例会

- ①第1回例会（4月例会）：平成27年度技術士二次試験合格者祝賀会・記念講演会<21>名
開催日 平成28年4月9日（土）14：00～16：30、交流会 16：30～18：30
場 所 ピュアリティーまきび
記念講演会（14：00～15：00）
講 題：「技術士への期待」
講 師：橋本成仁氏〔岡山大学大学院環境生命科学研究科准教授〕
岡山県支部活動・CPD登録方法、日本技術士会入会の勧め（15：10～16：30）
合格祝賀会（16：30～18：30）
- ②第2回例会（5月例会）：現地見学会・講演会<23名>
開催日 平成28年5月14日（土）13：00～17：00
場 所 高梁市文化交流館3F
講 題：（1）備中松山城（2）山田方谷についての講演会
講 師 石井 保氏（元高梁市教育委員長・高梁方谷会副会長）
- ③第3回例会（6月例会）：まちづくり実践に向けての講演会<27名>
開催日 平成28年6月4日（土）13：30～16：30
場 所 岡山国際交流センター3F
講 題 岡山市におけるESD・市民協働の取組みについて
講 師 高平亮氏〔岡山市ESD・市民協働推進センター長〕
事例発表①学童プレハブ6℃作戦〔岡山県中小企業家同友会：糸山智栄氏〕②ワークショップ〔公益財団法人みんなでつくる財団おかやま代表理事：石田篤史氏〕
- ④第4回例会（9月例会）：5県技術士会（太平洋・瀬戸内海・日本海縦断技術士会）<54名>
開催日 平成28年9月3日（土）13：00～17：00、交流会 17：00～19：00
場 所 国際国流センター
テーマ：持続可能な社会への取り組み
基調講演：「熊本地震を踏まえた地域価値向上に資するBCP（事業継続計画のあり方）」講師：磯打千雅子氏〔香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構地域強靱化研究センター特命准教授〕
研究発表：①「地域住民を対象とした防災学習の取組みと課題」（株式会社荒谷建設コンサルタント：西村 悟之氏）、②「地熱（温泉熱）発電と熱利用を通じた持続可能な社会構築への貢献」（協和地建コンサルタント株式会社：石倉 昭和氏）、③「金属材料分野における資源利用の低減」（㈱三造試験センター：徳井 翔氏）、④「地方創生と国土強靱化地域計画理念が融合した地方都市再生事例」（香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構危機管理研究センター副センター長：特命教授 岩原 廣彦氏）、⑤「高知県における橋梁事業の検査から見える社会資本整備の課題」（高知県技術士会幹事：森下正浩氏）
- ⑤第5回例会（10月例会）：現地見学会<8名>
開催日 平成28年10月15日（土）11：00～16：00
場 所 広島県呉市
内 容 土木遺産の水道用ダム視察（呉市上下水道局本庄水源地堰堤）
呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）の見学、宮原浄水場低区配水池、
二河水源地取入口、本庄水源地堰堤の3箇所の施設見学（参加者8名）
- ⑥第6回例会（11月例会）：岡山県支部主催/中国本部建設部会共催）：合同現地見学会<17名>
開催日 平成28年11月12日（土）13：00～17：00
場 所 倉敷立体高梁川大橋、玉島・笠岡道路の工事現場）
- ⑦第7回例会（12月例会）中国本部主催/岡山県支部共催：見学会・忘年会・技術士研究・業績発表会
現地見学会 平成28年12月3日（土）13：00～17：00<31名>、交流会<29名>
技術士研究・業績発表会：平成28年12月4日（日）10：00～15：40<40名>
発表者：①農業/森林/水産部会、演題：「炭素循環農法の事例紹介（仮題）」、講師：萬谷

昌毅氏（よろだに）（上下水道）②電子・電子/経営/情報工学部会、演題：「H型支持柱による簡易な太陽光パネル設置工法の開発（仮題）」、講師：馬場 啓丞氏（電気・電子）③化学/繊維/金属部会、演題：「一般社団法人エコエネ技術士ネットの省エネ相談地域プラットフォーム事業活動」、講師：小林 昇氏（栗原 茂（化学）の代理）④建設部会、演題：「橋梁橋のメンテナンス」、講師：森川 洋介氏（建設）⑤上下水道部会、演題：「水道事業経営に関する一考察」、講師：露無 誠氏（上水道）⑥機械/船舶・海洋/航空・宇宙部会、演題：「工事の自動化に向けた取り組み」、講師：小野 宏氏（機械・金属）⑦応用理学/資源工学部会、演題：「ハンディGPS・スマホを生かした調査事例」、講師：小林 昇氏（応用理学）⑧環境/衛生工学/生物工学/原子力・放射線部会、演題：「騒音の見える化”アコースティックカメラ”（仮題）」講師：今田雄一氏（建設、環境）

⑧第8回例会（2月例会）：平成28年度技術士第一次試験合格ガイダンス・交流会<35名>

開催日 平成29年2月4日（土）13:30～17:00、交流会 17:00～18:30

場 所 サムライスクエア

内 容 「技術士第二次試験の概要」：森川洋介氏（建設）、「修習のあり方」：馬場祐典氏（機械、総監）、「技術士二次試験受験体験談1」：辻昌志氏（建設）、「技術士」二次試験受験体験談2」：山本朗子氏（生物工学）

4. 津山工業高等専門学校

(1) 本科3年生の「キャリア教育支援」

演 題：「資格と仕事の関係について」

①情報工学科3年生：11月18日（金）8：50～9：40<39名> 分部秀樹氏（上下水道・総監）

②電子制御工学科3年生：12月08日（木）14：40～15：30<43名> 木口誠二氏（建設・総監）

③電気電子工学科3年生：1月11日（水）13：45～14：35<47名> 木口誠二氏（建設・総監）

④機械工学科3年生：1月18日（水）14：40～15：30 <46名> 分部秀樹氏（上下水道・総監）

(2) 津山高専女子会

協 力：技術士会連携教育ワーキング

開催日：11月29日 火曜日 13：30～15：10<33名>

講 師：磯打 千雅子（香川大学 特命准教授）

(3) 専攻科生の専攻科生の「キャリア教育支援」について

開催日：1月19日（木）14：40～16：10<22名>

演 題：「エンジニアとしてのキャリア形成と技術士資格の取得」

馬場 祐典氏（機械・総監）

演 題：「キャリアアップのために」：窪田健一氏（電気電子）

決算報告書

自 平成28年 4月 1日
至 平成29年 3月31日

統合会計（地域組織）

東京都港区虎ノ門4-1-20田中山ビル8F

貸借対照表

平成29年 3月31日現在

統合会計（地域組織）
一般会計

岡山県支部
（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,648,645	1,705,343	△ 56,698
現 金	51,657	112,339	△ 60,682
普 通 預 金	1,596,988	1,593,004	3,984
流動資産合計	1,648,645	1,705,343	△ 56,698
資産合計	1,648,645	1,705,343	△ 56,698
II 負債の部			
1. 流動負債			
預 り 金	8,084	5,389	2,695
流動負債合計	8,084	5,389	2,695
負債合計	8,084	5,389	2,695
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	1,640,561	1,699,954	△ 59,393
正味財産合計	1,640,561	1,699,954	△ 59,393
負債及び正味財産合計	1,648,645	1,705,343	△ 56,698

収支計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

統合会計（地域組織）
一般会計

岡山県支部
(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
事業収入	[260,000]	[98,000]	[162,000]
自主事業収入	(260,000)	(98,000)	(162,000)
参加費収入	260,000	98,000	162,000
地域組織収入	[476,000]	[485,000]	[△ 9,000]
地域組織活動費収入	266,000	275,000	△ 9,000
地域組織活動補助費収入	(210,000)	(210,000)	(0)
講演会・見学会開催補助費収入	210,000	210,000	0
雑収入	[391,000]	[411,744]	[△ 20,744]
受取利息	1,000	24	976
雑収入	40,000	91,720	△ 51,720
協賛金収入	350,000	320,000	30,000
事業活動収入計	1,127,000	994,744	132,256
2. 事業活動支出			
事業費支出	[1,304,000]	[1,054,137]	[249,863]
事業広報費	(230,000)	(240,924)	(△ 10,924)
会誌印刷費	200,000	210,000	△ 10,000
会誌郵送費	7,000	23,408	△ 16,408
インターネット運用費	23,000	7,516	15,484
研鑽費	(750,000)	(364,263)	(385,737)
講演会・見学会開催費	750,000	364,263	385,737
業務推進費	(324,000)	(448,950)	(△ 124,950)
会議費	30,000	4,000	26,000
旅費交通費	150,000	143,820	6,180
通信運搬費	10,000	28,159	△ 18,159
消耗品費	20,000	58,468	△ 38,468
各種会合費	0	32,733	△ 32,733
地域委員会活動費	104,000	96,672	7,328
雑費その他	10,000	85,098	△ 75,098
事業活動支出計	1,304,000	1,054,137	249,863
事業活動収支差額	△ 177,000	△ 59,393	△ 117,607
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	△ 177,000	△ 59,393	△ 117,607
前期繰越収支差額	1,471,000	1,699,954	△ 228,954
次期繰越収支差額	1,294,000	1,640,561	△ 346,561

財産目録

平成29年 3月31日現在

統合会計（地域組織）
一般会計

岡山県支部
(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	51,657
預金	普通預金		1,596,988
	岡山/中国銀行		1,596,988
流動資産合計			1,648,645
資産合計			1,648,645
(流動負債)			
預り金			8,084
源泉所得税			8,084
流動負債合計			8,084
負債合計			8,084
正味財産			1,640,561

監 査 報 告

平成29年4月26日 公益社団法人日本技術士会中国本部岡山県支部事務局において、関係帳票を監査いたしました結果、その適法かつ正確なることを認めましたので、ここにその報告をいたします。

平成29年4月26日

幹事 今塚 裕之 

幹事 今泉 雅之 

平成 29 年度事業計画並びに収支予算

【平成 29 年度事業計画】

《基本施策》

- 「行動し発信し地域に展開する公益社団法人日本技術士会中国本部 岡山県支部」として、技術士の資質向上、社会貢献活動の推進、戦略的な情報発信および地域に密着した活動の展開により、会員サービスの充実と技術士の知名度向上を図り、会員拡大を早期に実現する。

(1) 公益社団法人としての対応により公益的事業の促進、地域社会の発展に寄与する。

国、県、市町村と協力し、中小企業の相談対応・専門家派遣、防災・環境保護活動、理科教室支援等を通じて地域社会発展へ貢献する。

⇒ 【活動計画】

- ① 理科教室の支援活動
- ② 岡山県の防災活動への参加

(2) 知名度の向上及び技術士の活用促進

戦略的な広報活動の推進、各種行事や社会貢献活動による積極的な情報の発信に努め、技術士の知名度を向上させるとともに、自治体及び関連学協会との連携を深め、効果的な活動に努める。

⇒ 【活動計画】

- ① 岡山県支部会報の発刊・配布（年 1 回）
- ② 関連学協会との連携強化に向けた活動

(3) 技術士の資質向上と活性化

CPD 行事、地域との交流・研鑽をめざした講演会・見学会、倫理の啓発など技術士の資質の向上に努めるとともに地域技術関連組織（大学、工業高等専門学校、技術研究機関、各種学会、他の技術有資格者組織）との連携強化やコラボレーションにより、会員活動の活性化を図る。

⇒ 【活動計画】

- ① 例会（年次大会、講演会、見学会、技術者倫理講座、修習セミナー、合格祝賀会など）の実施。
- ② 津山工業高等専門学校との連携協力
- ③ 中国本部の部会・委員会との共催による例会の開催

(4) 会員の拡大

企業内技術士、大学等 JABEE 認定課程の学生に対して、世の中に役立つ技術士の魅力をアピールし、フォーラム、講演会、セミナー等を通して技術士の活用事例等を発信し会員拡大に努める。

⇒ 【活動計画】

- ① 修習セミナー、技術士試験合格祝賀会、記念講演会の開催
- ② 会員、会誌購読者、協賛団体への勧誘活動

《実践項目》

岡山県支部における事業

1. 岡山県支部年次大会・講演会・交流会

開催日 平成 29 年 7 月 29 日(土) 14:00～19:10

場 所 ピュアリティまきび

2. 役員会の開催（予定は変更される場合がある）

- ①第 1 回役員会〔5 月 13 日(土)〕 10:00～12:00 奉還町りぶら
- ②第 2 回役員会〔6 月 10 日(土)〕 10:00～12:00 岡山県立図書館
- ③第 3 回役員会〔10 月 28 日(土)〕 13:00～17:00 ゆうあいセンター
- ④第 4 回役員会〔11 月 25 日(土)〕 10:30～12:00 ゆうあいセンター
- ⑤第 5 回役員会〔3 月 10 日(土)〕 10:00～12:00 ゆうあいセンター

3. 例会の開催予定（予定は変更される場合がある）

- ①第 1 回例会（4 月例会）：平成 28 年度 技術士二次試験合格者祝賀会・記念講演会
開催日 平成 29 年 4 月 8 日(土) 14:00～17:00、交流会 17:00～19:00
場 所 ピュアリティまきび
- ②第 2 回例会（5 月例会）：維持管理・技術者倫理に関する講演会
開催日 平成 29 年 5 月 13 日(土) 13:00～17:00
場 所 岡山県ゆうあいセンター研修室
- ③第 3 回例会（6 月例会）：インフラ構造物の維持管理に関する講演（中国本部建設部会共催）
開催日 平成 29 年 6 月 10 日（土） 13:30～16:30
場 所 岡山県立図書館デジタルシアター
- ④第 4 回例会（7 月例会）：年次大会・講演会
開催日 平成 29 年 7 月 29 日（土） 14:00～17:00、交流会 17:00～19:00
場 所 国際交流センター
- ⑤第 5 回例会（9 月例会（1））：5 県技術士会（太平洋・瀬戸内海・日本海縦断技術士会）
開催日 平成 29 年 9 月 9 日（土） 13:00～16:00、交流会 17:00～19:00
場 所 香川県
- ⑥第 6 回例会（9 月例会（2））：現地見学会：堂々川砂留群&御領古墳群（中国本部建設部会・応用理学部会共催）
開催日 平成 28 年 9 月 30 日（土） 13:00～16:00
場 所 広島県福山市神辺地域
- ⑦第 7 回例会（10 月例会）：第 44 回技術士全国大会（山口）
開催日 平成 29 年 10 月 20 日（金）～21 日（土）
場 所 山口健康づくりセンター
- ⑧第 8 回例会（11 月例会）：現地見学会
開催日 平成 29 年 11 月 18 日(土) 13:00～17:00
場 所 国土交通省岡山河川事務所:百間川河口水門等の現場
- ⑨第 9 回例会（12 月例会）：西川緑道公園の活性化に向けてのワークショップ
開催日 平成 29 年 12 月 9 日(土) 13:30～17:00、交流会 17:00～19:00
場 所 西川アゴラ
- ⑩第 10 回例会（2 月例会）：修習セミナー（H29 年度技術士第一次試験合格者祝賀会）
開催日 平成 30 年 2 月 3 日（土） 13:30～17:00、交流会 17:00～19:00
場 所 未定(サムライスクエア)

4. 津山工業高等専門学校講演会の開催予定（予定は変更される場合がある）

- ① 第 1 回講演会（平成 30 年 1 月中旬～下旬）

今年度までの 2 年間の実績から毎年 1 月中旬～下旬に開催されている。（3 回程度）

5. 各委員会における事業

(1) 企画総務委員会

- ①役員会に諮る議案の検討（組織体制、収支予算、諸規則等）や委員会間の調整を行う。
- ②本会CPD制度の普及・推進により、社会的認知度の向上を図る。
- ③委員会活動の活性化、中国本部・学協会との連携、5県（島根、鳥取、岡山、香川、高知）会員との交流・協働の促進等により、会員拡大（組織率向上）を図る。
- ④財政基盤を強化し、対外的諸活動に関する施策の検討・調整を図る。

(2) 事業委員会

- ①事業計画、事業報告を作成する。
- ②年次大会、例会を開催する。
- ③CPD行事を支援し、社会的認知度の向上、会員拡大（組織率向上）を図る。

(3) 広報委員会

- ①社会的認知度の向上、会員拡大のための広報活動を企画し実施する。
- ②会報を1回程度発刊する。
- ③ホームページにより情報提供を行う。

(4) 修習技術者支援委員会

- ①修習技術者に対するセミナーを年2回程度開催し、修習活動の支援を行う。
- ②修習技術者支援実行委員会（中国本部）と連携し、Web会議を活用して、中国本部の委員会・セミナー等に積極的に参加する。
- ③要請に応じて、JABEE課程の教員・学生への「技術士制度説明会」を実施する。

6. その他検討事項並びに事業

その他、必要とする事業は、早期に具体的計画を立案し実践することに努める。

平成29年度 岡山県支部収支予算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

収入

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
1. 地域組織活動費収入	270,000	266,000	4,000	平成29年度中国本部より
2. 地域組織活動補助費収入	250,000	210,000	40,000	
①講演会・見学会開催補助費収入	250,000	210,000	40,000	平成29年度統括本部より
⑥その他補助費収入	0	0	0	
3. 事業収入	233,000	260,000	△ 27,000	
①参加費収入	233,000	260,000	△ 27,000	交流会収入を除く
4. 雑収入	401,000	391,000	10,000	
①受取利息収入	1,000	1,000	0	
②雑収入	50,000	40,000	10,000	津山高専より
③協賛金収入	350,000	350,000	0	協賛団体収入
当期収入合計 (A)	1,154,000	1,127,000	27,000	
前期繰越収支差額	1,699,000	1,471,057	227,943	
収入合計 (B)	2,853,000	2,598,057	254,943	

平成29年度 岡山県支部収支予算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

支 出

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 事業広報費	230,000	230,000	0	
①会誌印刷費	200,000	200,000	0	
②会誌郵送費	7,000	7,000	0	
③インターネット運用費	23,000	23,000	0	
2. 普及啓発費	0	0	0	
①合同セミナー開催費	0	0	0	
3. 研鑽費	655,000	750,000	△ 95,000	
①講演会・見学会開催費	655,000	750,000	△ 95,000	
4. 業務推進費	270,000	324,000	△ 54,000	
①会議費	30,000	30,000	0	
②旅費交通費	150,000	150,000	0	
③通信運搬費	10,000	10,000	0	
④消耗品費	20,000	20,000	0	
⑤各種会合費	0	0	0	
⑥地域委員会活動費	50,000	104,000	△ 54,000	
⑦雑費その他	10,000	10,000	0	
当期支出合計 (C)	1,155,000	1,304,000	△ 149,000	
当期収支差額(A)-(C)	-1,000	-177,000	176,000	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	1,698,000	1,294,057	403,943	

岡山県支部の運営における個別事項に関する手引き

平成 29 年 6 月 10 日 岡山県支部役員会制定

(目的)

第1条 この手引きは、「地域組織の設置運営に関する規則」第 16 条（個別規則の制定）第 1 項第 4 号及び「地域組織運営における個別事項を定めるモデル手引きに関する規則」の規定に基づき、(公社) 日本技術士会 中国本部 岡山県支部（以下、「当支部」という。）の運営についての個別の事項について定める。

第1章 基本運営

(役員会の開催)

第2条 役員会は、毎年 5 回以上の開催を基本とする。

(副支部長の定数)

第3条 副支部長の定数は 2 名以内とする。

(運営組織)

第4条 別記表 1 に掲げる委員会を設置し、当支部の運営に当たる。

(委員会)

第5条 委員会は、別記表 2 に掲げる事項を所掌する。

- 2 委員会委員の定数は、20 名以内とする。
- 3 委員会の運営の詳細については、別に定める「中国本部委員会運営要領」による。
- 4 支部長は、中国本部委員会の委員推薦を中国本部より要請された場合、中国本部委員会に対応した委員会がある場合はその委員会の中から、また、対応した委員会が無い場合は県支部の会員の中から最も相応しい者を選し、支部役員会の承認を得て推薦する。

(技術部門別組織)

第6条 当支部は、技術部門別組織を設置せず、中国本部の技術部門別組織の下で活動する。

- 2 支部長は、中国本部部会の幹事推薦を中国本部より要請された場合、県支部の会員の中から最も相応しい者を選し、支部役員会の承認を得て推薦する。

(CPD行事)

第7条 当支部は、CPD 行事の開催に当っては、別に定める「中国本部 CPD 行事開催要領」を準用する。

(交通費支給範囲)

第8条 当支部は以下の場合、対応した会員の交通費について実費相当額を支給することができる。

(1) 本会組織（統括本部・地域本部・県支部）、並びに他学協会が主催する会議・行事等に参加を

要請され、当支部を代表してそれらに参加する場合。

(2) 当支部の委員会が主催する行事の運営要員として行事に参加する場合。

(3) その他、事務局会議（支部長、副支部長、事務局長、企画総務委員長、事業委員長で構成）

が承認した場合。

第2章 協賛団体

(協賛金)

第9条 協賛団体からの協賛金は、1口当たり10,000円/年とする。

(協賛団体の扱い)

第10条 協賛団体の取扱いは次のとおりとする。

(1) 協賛団体の代表又はその代理の者は、当支部年次大会に出席し意見を述べることができる。

(2) 協賛団体は、当支部が発行する会誌又はその他刊行物の配布を無償で受け、当支部の事業成

果を当支部の了解を得て利用することができる。

(3) 協賛団体の構成員が当支部主催の講演会等（懇親会は除く）に参加する場合、参加費については当支部が定めた割引をうけることができる。

第3章 事務局

(所在地)

第11条 事務局事務所を、岡山市に置く。

(体制)

第12条 事務局体制は、次のとおりとする。

(1) 事務局長（正会員1名）

(2) 事務局次長（正会員2名以内）

(報酬)

第13条 事務局を務める上記の者には、実費相当の交通費を除いて、原則無償とする。

第4章 その他

(本手引きの改廃)

第14条 本手引きの改廃については、企画総務委員会が役員会に付議し、「地域組織の設置

運営に関する

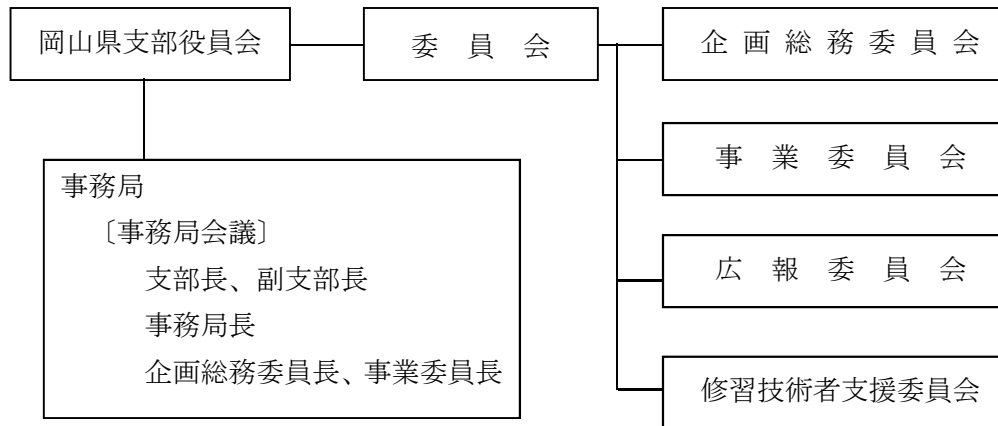
規則」第16条（個別規則の制定）第1項第4号に従い、中国本部役員会の審議を経て役員会において定めることができる。

附 則（平成27年4月 1日）

（平成29年7月29日）改訂

この手引きは、平成29年7月15日中国本部役員会の審議を経て、平成29年7月29日から施行する。

【別記表1】岡山県支部における組織体制



【別記表2】岡山県支部における委員会とその所掌事項

委員会名	所掌事項	中国本部委員会との業務上の対応関係
企画総務委員会	<ol style="list-style-type: none"> 役員会事項の提案、並びに事前審査 役員会での決定事項に関わる具体化、周知 会長表彰及び名誉会員の推挙など会員の顕彰 諸規程の管理(制定、改廃) 統括本部、地域本部及び他学協会との連携 委員会、部会の設立、運営に関わる事項の立案 当支部の基本運営に関わる事項の企画、立案 会員拡大に関わる総合的な企画 収支予算・決算の策定と収支予算の執行管理 その他、他の委員会の所掌にない事項 	企画総務委員会
事業委員会	<ol style="list-style-type: none"> 技術者倫理に関する講習会等の企画・実施 事業計画の立案及び事業報告の策定 研修会、講演会、全国大会等各種CPD行事の企画、実施 技術士CPDの推進及び学協会との連携 他委員会主催のCPD行事及び社会貢献活動の支援・調整 	事業委員会
修習技術者支援委員会	<ol style="list-style-type: none"> 修習セミナー、技術士第一次試験合格者歓迎会の企画、実施 JABEE認定課程修了者及び認定校教員への修習制度及び技術士制度の啓発活動 	修習技術者支援委員会
	<ol style="list-style-type: none"> 若手技術士に向けた研鑽事業の企画、実施 中国本部、中国本部管轄下の県支部、他地域本部若手技術士との交流促進 	青年技術士交流委員会
広報委員会	<ol style="list-style-type: none"> 中国本部会報の企画、編集及び岡山県支部会誌の企画、編集、発刊 ホームページの管理・運営 技術士及び本会の外部に向けた広報 	広報委員会

平成29年度 公益社団法人 日本技術士会 中国本部 岡山県支部役員・委員名簿

役職名	氏名	部門	勤務先
支部長	タナベ フオ 田邊 信男	建設・総技監	西部技術コンサルタント株式会社
副支部長 広報委員長	マンジ コウジ 万治 孝二	建設・総技監	一般社団法人 中国建設弘済会
副支部長 企画総務委員長	フケベ ヒデキ 分部 秀樹	上下水道・総技監	津山市役所 水道局
事務局長	ツルム マコト 露無 誠	上下水道	株式会社 ウエスコ
事務局次長 広報委員	コバヤシ ノボル 小林 昇	応用理学	株式会社 ジオブレイン
幹事 事業委員長	ミヤケ マサユキ 三宅 正之	建設	株式会社 オーライズ
幹事 修習委員長	クドウ トシユキ 工藤 季之	生物工学	就実大学 薬学部
幹事 広報副委員長	カドワキ シゲル 門脇 繁	建設	大地測量 株式会社
幹事 事業副委員長	トヨタ アキヒサ 豊田 商久	建設	株式会社 山陽設計
幹事 広報委員	トツカ ヒロユキ 戸塚 啓之	建設	三栄建設コンサルタント株式会社
幹事 事業委員	カワイ ヒロカズ 川井 広一	建設	岡山コンクリート工業 株式会社
幹事 事業委員	イマイズミ マサユキ 今泉 雅之	建設・総技監	株式会社 光栄技研
幹事 企画総務委員	ムラカミ モトヒコ 村上 始彦	建設・総技監	岡山市
幹事 修習副委員長	ババ ユウスケ 馬場 祐典	機械・総技監	株式会社 クラレ岡山事業所
幹事 修習委員	クボタ ケンイチ 窪田 健一	電気電子	JFEスチール(株)西日本製鉄所
幹事 事業委員	オカ マサオミ 岡 正臣	建設	大和クレス 株式会社
幹事 企画総務副委員長	カマダ ヒデキ 鎌田 英樹	繊維	株式会社 クラレ岡山事業所
幹事 広報委員	トクイ ショウ 徳井 翔	金属・総技監	株式会社 三造試験センター
会計幹事	マツザワ ヒデヤス 松澤 秀泰	建設・総技監	株式会社 エイト日本技術開発
会計幹事	ノザキ カズフミ 野崎 和史	建設	大和クレス 株式会社
特別顧問	キグチ セイジ 木口 誠二	建設・総技監	ミツヤ設計株式会社
オブザーバー			
企画総務委員	ウツミ ヒロシ 内海 宏	建設・総技監	西部技術コンサルタント株式会社
事業委員	モリカワ ヨウスケ 森川 洋介	建設	山陽ロード工業 株式会社
事業委員補佐	イオロイ アキラ 五百蔵 賛	修習技術者	ランデス 株式会社
修習委員補佐	モリモト ケイスケ 森本 圭介	修習技術者	難波プレス工業 株式会社
修習委員補佐	ホリ セイイチ 堀 精一	修習技術者	
修習委員補佐	ノモト ヒロフミ 野元 博文	修習技術者	日東電工 株式会社

公益社団法人 日本技術士会 中国本部 岡山県支部 委員会名簿

委員会	委員長	副委員長	委員
企画総務委員会	わけべ ひでき 分部 秀樹	かまた ひでき 鎌田 英樹	うつみ ひろし むらかみ もとひこ 内海 宏、村上 始彦
事業委員会	みやけ まさゆき 三宅 正之	とよた あきひさ 豊田 商久	いまいずみ まさゆき おか まさおみ かわい ひろかず 今泉 雅之、岡 正臣、川井 広一、 もりかわ ようすけ いおろい あきら 森川 洋介、五百蔵 賛補佐
広報委員会	まんじ こうじ 万治 孝二	かどわき しげる 門脇 繁	こばやし のぼる とくい しょう とつか ひろゆき 小林 昇、徳井 翔、戸塚 啓之
修習技術者委員会	くどう としゆき 工藤 季之	ばば ゆうすけ 馬場 祐典	くぼた けんいち のもと ひろふみ 窪田 健一、野元 博文補佐、 ほり せいいち もりもと けいすけ 堀 精一補佐、森本 圭介補佐